隊員と家族をつなぐ 家族会ほっとライン

祝 自衛隊創設70周年

昭和29（1954）年7月1日、防衛庁設置法および自衛隊法が施行され、陸・海・空自衛隊からなる自衛隊が発足しました。

今年は70周年の節目を迎えました。この間、平成19（2007）年1月には防衛庁・自衛隊から防衛省・自衛隊へと名称が変更されました。

陸自と海自の70周年行事

自衛隊は、保安隊が陸上自衛隊に、警備隊が海上自衛隊となり、新たに航空自衛隊が創設されて誕生しました。

陸上自衛隊は、昭和25（1950）年8月に創設された警察予備隊が、昭和27（1952）年8月に保安隊となり、陸上自衛隊に至りました。このため、警察予備隊の発足から70年となった令和2（2020）年に陸上自衛隊創設70周年の行事を行いました。

また、海上自衛隊は、昭和27年4月に海上保安庁法の一部が改正され、4月26日付で海上警備隊が発足。同年8月に保安庁法が施行され、海上保安庁から保安庁へ移籍となり、名称も海上が消えて警備隊と改められました。このため、令和4（2022）年に海上自衛隊創設70周年の行事を行いました。

航空自衛隊の70周年行事

自衛隊の創設とともに新設された航空自衛隊は4月25日、防衛省講堂で「70周年記念式典」を開催し、木原稔防衛大臣をはじめ多くの来賓や隊員が出席しました。式典で木原防衛大臣は「航空自衛隊は、わが国の領空を守る組織として、昭和29年の創設以来、70年の長きにわたり、その任務を果たしてきました。昭和33年5月13日、千歳の空に、第2航空団所属のF－86F戦闘機が銀色の翼を煌めかせながら勢いよく飛び立ちました。自衛隊初のスクランブル。それは、戦後間もないわが国の防空能力の向上のみならず、自分の国は自分で守るという意思を内外に示すものでもありました。以来、航空自衛隊は一分この瞬間も、全国各地で任務に当たっている全ての隊員に対し、心からの敬意と感謝を表します」と述べました。

この間、昭和62（1987）年にはソ連機が沖縄上空を領空侵犯し、昭和33年に航空自衛隊が対領空侵犯措置を開始して以来、初めてとなる信号射撃による警告を実施しました。平成10（1998）年には北朝鮮が日本上空を超える弾道ミサイルの発射を行い、防空の要となっているBMDシステムの整備を推進する契機となっています。

また、平成15（2003）年にはイラク人道復興支援法に基づく対応措置の命令を受けて輸送航空隊を編成し、初の長期に渡る海外での活動を行い、期間にして約5年間、計16次にもわたる派遣活動を完遂しました。

近年では、令和2年に宇宙領域専門の部隊を立ち上げ、昨年から宇宙領域把握に関する任務を開始するなど、空から宇宙へと任務を拡大しています。

将来的には「航空宇宙自衛隊」への改称も予定されており、内倉浩昭航空幕僚長は式典で「航空自衛隊として迎える最後の節目であり、このような機会に改めて愛する家族、大切な仲間を含む国民の皆さまの平和な暮らしを断固として守り抜くため、『強さ』と『優しさ』を併せ持った組織を造り上げていく決意を新たにする」と述べています。

予備自衛官制度創設70周年

航空自衛隊の創設とともに、自衛隊の発足に伴せて創設されたのが予備自衛官制度です。

昭和29年に陸上自衛隊においてスタートした予備自衛官制度は、昭和45（1970）年には海上自衛隊で、昭和61（1986）年には航空自衛隊でそれぞれ導入されました。また現在は、予備自衛官制度に加え、即応予備自衛官制度、予備自衛官補制度も整備されています。5月26日に都内のホテルで開催された「予備自衛官制度創設70周年記念祝賀会」には、木原防衛大臣をはじめ多くの来賓が出席し、また、岸田文雄総理大臣はビデオでお祝いの言葉を述べました。

この中で、岸田総理は「戦後、最も複雑で厳しい安全保障環境の中、国民の命と平和な暮らし、そしてわが国の領土・領海・領空を断固として守り抜く。これがわが国政府の使命であり、防衛力の果たすべき役割です。そして、いざという時に防衛力を拡張するための制度こそ、予備自衛官制度であります。この制度は、昭和29年の自衛隊発足と同時に創設され、以来70年間にわたり、重要な役割を担ってきてくれました。本年元日に発生した能登半島地震においても、予備自衛官、即応予備自衛官が真っ先に招集に応じ、常備自衛官と共に被災地において献身的な救援活動を行ってくれました。このように、災害や有事に必要不可欠な予備自衛官制度をこれまで維持し、発展できたのは、予備自衛官の皆さん自身の努力によるとともに、ご家族や雇用主の方々による日頃からのご理解とご協力の賜物です。ご家族、雇用主の方々をはじめ、ご支援・ご協力をいただいている関係者の皆さまに、自衛隊の最高指揮官として心より感謝を申し上げます。厳しい安全保障環境の下、私は予備自衛官の皆さんと共に、この国と国民を守り抜いてまいります。『守る未来、70年のその先へ』に向け、皆さんの今後ますますのご活躍と制度の一層の発展を祈念します」と述べました。

その他の70周年

なお、自衛隊の創設と共に創設された組織・機関には、防衛庁内に設置された統合幕僚会議（統合幕僚監部の新設に伴い廃止）、付属機関として設置された調達実施本部（防衛装備庁に統合・廃止）、保安大学校から名称が変更された防衛大学校、保安研修所から名称が変更された防衛研修所（現在の防衛研究所）があります。

「70周年記念式典」を開催（防衛省X）

岸田総理からビデオでお祝いの言葉が

宮城県

県家族会、第6回宮城県大会を開催 駐屯地で親睦と防衛教養を深化

宮城県自衛隊家族会は129人の会員を擁する組織で、6月23日に第6回自衛隊家族会宮城県大会を陸自多賀城駐屯地で開催しました。参加者は来賓12人、会員303人でした。

この大会は平成28（2016）年6月に初めて開催され、途中、コロナ禍により中断したものの、昨年に引き続き開催できました。

大会の趣旨は、多くの家族会員が一堂に会し、会員相互の親睦を深め、防衛教養を高め、自衛隊の募集や家族支援に協力することです。著名人による防衛講演、音楽隊の演奏、部隊喫食、成長した新隊員の隊歌演習や意見発表など、多彩なイベントが行われました。

昨年に引き続き参議院議員の佐藤正久氏が講演を行い、世界情勢や防衛費に関する重要な話題を紹介しました。

講演の中で自衛官であるご子息の話を交えながら、自衛隊の最も身近な存在である家族会員に対してさらなる自衛隊への協力を呼びかける場面もありました。

昼食では、隊員食堂で300人にも及ぶ会員に手際よく配食され、慰食班の手作り料理は会員に大好評でした。昼食には佐藤議員も参加され、食後には多くの会員が佐藤議員と撮影をして歓喜しました。

その後、陸自第6音楽隊の演奏もあり、会員たちは元気をもらい、笑顔で楽しんでいました。

大会には宮城地方協力本部の新井広道募集課長も登場し、地元に精通した家族会員の募集協力を依頼しました。

大会終了後、参加者たちは再会を期し、多賀城駐屯地を後にしました。本大会にご協力いただいた多賀城駐屯地と宮城地方協力本部に深甚なる感謝の意を表します。ありがとうございました。

（宮城県自衛隊家族会　会長　鎌田　徹）

佐藤正久議員を中央に記念撮影

神奈川県

自候生の修業式・任命式、横須賀で開催 県家族会も参列、新たな門出を祝う

7月1日、神奈川県自衛隊家族会（中條怡介会長）は横須賀市武山駐屯地で行われた海自横須賀教育区隊の第30期自衛官候補生課程（113人）・第19期自衛官候補生女性課程修業式（30人）、自衛官任命式および第381期練習員課程・第71期練習員（女性）課程始業式に参列しました。

式典は当課程学生の入校式の時と同じように生憎の雨の中で、ご家族および部内外からの来賓列席の下、執行されました。

自衛官候補生として4月に入隊した学生たちは、教育課程を修了し、この日をもって海上自衛官に任官、2等海士に任命され練習員としての教育課程に進みます。そして、約2カ月後の8月末には各職種別に別れ、それぞれの任地へ向けて巣立って行くことになります。

横須賀教育隊司令の大賀康弘1等海佐は、厳しい暑さの中での練習員課程を乗り切るため各自の健康管理の大切さと同期の絆の重要性を説き、課程を最後までやり遂げることを切望されました。

横須賀地方総監の伊藤弘海将は、入隊式で示された2つの指針「海上自衛官としての新たな自分を引き出す」「同期の絆を育む」について再確認を求め、練習員課程修了までさらに精進み、晴天の下で修了式が挙行されました。

修了者23人は、ご家族約40人や教育隊、先輩隊員約120人の見守る中で、約3カ月の教育期間をやり遂げた自信に満ちた表情で修了証書を手にしました。

代表者申告や優秀候補生表彰が続き、米村司令に代わり副連隊長の井上和久2等陸佐から心温まる祝辞が贈られました。

式典後は記念撮影が行われ、食堂に場を移しての記念食事会では兵庫地方協力本部神戸出張所の前田2曹と山下2曹の協力で「家族会入会ご案内」が配布されました。

（兵庫県自衛隊家族会　監事　佐阪　陸）

海上自衛官に任官し2等海士に任命

修了式後、全員で集合写真

家族に話をする伊藤総監

青野原駐屯地での修了式

翌日の青野原駐屯地での修了式には、兵庫県自衛隊家族会から高木会長、吉野副会長（北播磨地区会会長）らが出席しました。

当初、天候の急変も危ぶまれましたが、式典中は晴天に恵まれ、修了者31人はご家族約70人や教育隊、先輩隊員約20人の見守る中で次の車門教育への配属を命じられました。代表者申告や優秀候補生表彰も立派に行われました。

栗田司令からの祝辞では、修了者たちのこれまでの努力と、今後の自衛官としての期待について熱い言葉が贈られました。

兵庫県自衛隊家族会の高木会長の祝辞、祝電披露や階級章授与が行われた後、全員で記念撮影が行われました。

式典後には修了者と家族が和やかに談笑し、青野原駐屯地に笑い声が響き渡りました。

修了式前には、修了者とご家族に「家族会入会ご案内」が配布されました。兵庫県自衛隊家族会は引き続き自衛隊と自衛官を応援していくことを表明しています。

（兵庫県自衛隊家族会　副会長　吉野　修）

修了式会場

茨城県

勝田駐屯地で自候生課程修了式 施設教導隊が導く明るい未来への第一歩

勝田駐屯地施設学校での自衛官候補生課程学生の教育が、施設教導隊によって約3カ月にわたり行われ、6月29日、修了式が盛大に挙行されました。

修了式には正代初代県自衛隊家族会長が来賓として出席し、課程修了者25人に対し祝辞を述べました。

自衛隊を支える部外団体として、課程修了隊員の厳しい訓練を乗り越えたことをねぎらい、また、明るい将来を祈る祝辞は、出席した家族にも共感を呼び起こしました。

修了式後、約40人のご家族が集まり、自衛隊家族会への入会説明が行われました。茨城県自衛隊家族会の新しいウェブサイトの閲覧方法も具体的に説明され、参加者に強い印象を残しました。この成功には、自衛隊茨城地方協力本部長をはじめとする多くの隊員のご協力があってのものです。

（茨城県自衛隊家族会　会長　正代　初代）

祝辞を述べる正代会長

候補生家族に説明する正代会長

青森県

団結と向上心で乗り越えた修了式 新隊員の家族にも感謝の言葉

青森県自衛隊家族会（野呂和生会長）および青森市自衛隊家族会（成田光男会長）は6月21日、陸自青森駐屯地にて行われた第5普通科連隊（連隊長・伊藤裕一1等陸佐）令和6年度自衛官候補生課程修了式に参列しました。

4月6日の入隊式で伊藤連隊長が「向上心」と「信頼」の重要性を強調して教育を開始した結果、新隊員たちは常に向上心を持ち、互いに励まし合い、一致団結して修了式を迎えることができました。

修了式では、教育隊長・松原功明2等陸佐が伊藤連隊長の祝辞を代読しました。松原教育隊長は「陸上自衛隊は大きな家族であり、本教育で培った自信と誇りを持って安心して赴任してほしい」と述べました。また、新隊員の家族に対して「入隊式でのご支援とご理解に深く感謝し、引き続きご協力をお願い申し上げます」と感謝の意を伝えました。

候補生を代表して、久田鉄心候補生は「団結、規律、士気の重要性を学び、心と体を鍛え、同期との真の友情を育むことができました」と答辞を述べました。

修了式を終えた新隊員18人は、7月上旬以降、それぞれの部隊で後期教育を開始します。

（青森県自衛隊家族会　会長　野呂　和生）

一致団結して迎えた修了式

兵庫県

自衛官候補生、晴れやかに修了式 姫路駐屯地と青野原駐屯地で

6月21日に陸自姫路駐屯地（姫路駐屯地司令・米村謙一1等陸佐）で、そして翌22日には陸自青野原駐屯地（青野原駐屯地司令・栗田千寿1等陸佐）で、それぞれ令和6年度自衛官候補生課程教育修了式が挙行されました。

姫路駐屯地での修了式

姫路駐屯地での修了式には、兵庫県自衛隊家族会から山岡副会長（姫路地区会会長）など、10人以上が出席しました。当日は朝から降り続いた雨が式典前に止み、晴天の下で修了式が挙行されました。

修了者23人は、ご家族約40人や教育隊、先輩隊員約120人の見守る中で、約3カ月の教育期間をやり遂げた自信に満ちた表情で修了証書を手にしました。

代表者申告や優秀候補生表彰が続き、米村司令に代わり副連隊長の井上和久2等陸佐から心温まる祝辞が贈られました。

式典後は記念撮影が行われ、食堂に場を移しての記念食事会では兵庫地方協力本部神戸出張所の前田2曹と山下2曹の協力で「家族会入会ご案内」が配布されました。

（兵庫県自衛隊家族会　監事　佐阪　陸）

修了式後、全員で集合写真

坂井市（福井県）

福井県初 潜水艦「そうりゅう」来港 坂井市支部、来場者サービスに奮闘

7月7日、福井港（坂井市）で自衛隊艦艇広報イベントが福井地方協力本部の主催で開催されました。

当日は、海上自衛隊から潜水艦「そうりゅう」と多用途支援艦「ひうち」、航空自衛隊から地対空誘導弾ペトリオット、陸上自衛隊から軽装甲機動車が展示されました。見学会は午前9時から開始され、県内外から多くの家族連れなど1091人の見学者が訪れ、賑わいました。

福井県自衛隊家族会坂井市支部（西嘗巧会長、会員49人）は、女性会員を中心に自衛隊グッズや飲料水の販売などで来場者との交流を深めました。

この日は天候にも恵まれ、海からの爽やかな風が吹き、初夏にふさわしい一日となりました。暑い中、会場内での誘導や案内、駐車場での交通整理など、多くの若い隊員が任務を着実に遂行し、イベント全体の運営に貢献しました。

家族会会員は、艦艇のそばでブースを構え、隊員の様子を見守っていました。「いつも近くにいるから、隊員の心の支えになるよ」と祈りながら、成長する隊員の後ろ姿に頼もしさを感じていました。

（福井県自衛隊家族会　事務局長　大刀　一朗）

「そうりゅう」と坂井市支部女性会員

市ヶ谷事務局（東京都）

家族会、隊員募集の前線へ 市ヶ谷地区で幕担当とともに募集活動

7月22日、（公社）自衛隊家族会事務局は、防衛省市ヶ谷地区厚生棟で、今年2回目となる募集広報のチラシ配りを行いました。

今回は海幕人事計画課が音頭をとり、各幕募集担当課、（公社）自衛隊家族会、そして（公社）隊友会がチラシを配布したものです。

ちょうどお昼時とあって必ずしもチラシを受け取ってくれる隊員ばかりではありませんでしたが、昨今の募集状況の厳しさを知る隊員からは頑張ってくださいとの声かけもありました。自分たちの後輩や仲間を増やすことの重要性を再認識する機会となったようです。

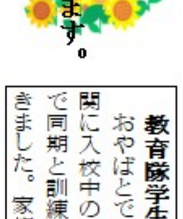
募集状況の厳しさは一朝一夕には改善されないでしょうが、各幕・隊友会とともに募集活動を続けていきたいと思います。

（（公社）自衛隊家族会　事務局）

酷暑の中、チラシを配る事務局長（編集局撮影）

教育隊学生からのメッセージ

おやばとでは今年も陸・海・空自衛隊の教育機関に入校中の学生の声を集めました。新しい環境で同期と訓練に取り組む前向きなメッセージが届きました。家族を思う気持ちにも心打たれます。



陸上自衛隊

雨二モ負ケズ、風二モ負ケズ、頑張ります！

個性の強い同期と助け合い立派な自衛官を目指します。

自覚のある行動をし、精進していきます。

仲間とともに厳練に励みます。

両親のおかげで頑張れます。応援お願いします。

秋庭　卓人　北海道七飯町
河村　奈侑　青森県おいらせ町
小林　千尋　埼玉県越谷市
渡邊　刀規　大阪府門真市
進藤　友志　鹿児島県中種子町

海上自衛隊

初心を忘れず部隊でさらに成長したい。

家族、仲間への感謝の気持ちを忘れない。

厳しい訓練より笑顔の方が勝ってる、負けんよ～

厳しくも愛のある教官の指導のもと、頑張っています。

良い仲間、教官と出会えたことに感謝し強くなります。

伊藤　美咲　千葉県木更津市
米村隆之介　宮崎県宮崎市
平田あずさ　岡山県倉敷市
松原　絵梨　佐賀県佐賀市
久世　晴士　大阪府箕面市

航空自衛隊

元気な同期と協力して前進していきます。

感謝を伝えられる自衛官になる！

池田　聖信　大阪府大東市
縄田　凌生　山口県山陽小野田市

厳しきも楽しい日々、一生の思い出です。

やる事をやる！　誇りを持てるよう日々訓練！

日々進歩と誠実を意識して努力してます!!

仲里　未和　沖縄県浦添市
近藤　綾星　北海道千歳市
岡村　基弘　神奈川県横浜市

編集後記

▽暑い夏、今月もたくさんのご投稿、ありがとうございます。川越市家族会から初の投稿がありました。▽ピンセットで印字をつまむように、各地の話題の一つ一つの文字を積み上げて8月号ができました。▽たまに手が滑るのはご容赦ください。実りの秋を楽しみに、今後も皆さまからのご投稿をお待ちしております。